

知事と市町村長との意見交換（目黒区）

令和元年 10 月 18 日（金）

16 時 35 分～16 時 55 分

○行政部長 それでは、早速でございますが意見交換を始めさせていただきます。

冒頭知事から一言お願いいたします。

○知事 青木区長をはじめ区役所の皆様方、お揃いで都庁にお越しくださいます。ありがとうございます。台風の後で、また次が来るというか雨模様ということで、それぞれ防災対策っていうのは喫緊の課題かと存じます。そういう中で、長期戦略といえば気候変動なども入るかとは思いますが、目の前の事、そして短期中期長期と、これから都にとりましても長期の見方が必要の中で、今日は目黒の青木区長から、ビジョン、今後の話など伺わせていただこうと思います。どうぞ短い時間でございますが、どうぞよろしく願いいたします。

○行政部長 それでは、青木区長よろしく願いいたします。

○目黒区長 まずは、知事にこういった長期戦略ですとか、都政について、こうやってお話を一对一、大分多いんですけども、させていただくのは、私も区長になって 16 年になりますけれども、初めてということですので、改めて敬意を表したいなというふうに思います。

北方領土発言も大変素晴らしい発言で、至極名言だというふうに思います。今、冒頭ちょっと今日のテーマをお出ししてないことなので、今お話は 19 号について、台風 19 号で、今日の新聞見たら 77 名という多くの方が命を落とされているということ、本当に御冥福を、お祈りを申し上げたいなと思っています。私ども目黒区にひるがえってみますと、大きな被害というのはなかったんですけど、それでも 24 名の方に罹災証明の発行も今しております。特に私ども目黒区も初めてなんですけれども、警戒レベル 4 をお出しして、目黒川沿い、あとでお話しますが、目黒川沿いの避難所等も、初めて地域避難所を開いて、426 名かな、多くの皆さんが避難をされたということです。一転、今日の新聞にも、これは朝日新聞なんで、私ども非常にホームページのつながりが悪くなって、区民の皆さんから大分お叱りを受けて、セキュリティクラウドの事だというふうに書いてあるので、もう多くを語りませんので、ぜひ、また私どもよく検討もしますし、都と力を合わせて、すぐまた明日も来るかもしれませんので、どうぞこの件についてはよろしく願いしたいなというふうに思います。

本題に入りますが、今ちょうど私どもも同じグッドタイミングで、今基本構想の改定を行っています。20 年ぶりの改定に今取りかかっています。20 年間の間に本当に少子高齢化が進んでいますし、IT も進んできています。20 年前、私は 44 歳で都議会議員に落選中でございましたけど、もっと若々しかった。大分、今トイレで顔を見たら年を取ったなと思って、20 年というのは本当に長いわけで、そういったことを受けて、長期計画審議会も設置をして、今、年度中に答申をもらって、今世紀の 20 年後、ちょうど半世紀ぐらいのと

ころを目途に改定を進めています。20年後を見据えようと。それから、基本構想と併せて、私どもは、長期計画、今度は10年間のスパンの今見直しもするという事になっておりますので、ちょうど東京都も20年後、10年後、私どもも20年後、10年後ということなので、非常にタイミングが同じだなということなので、今日大いに勉強させていただいて反映をさせていただきたいなと思います。タイムテーブルと大分時間が違っちゃって申し訳ないのですが、本題を続けていいですか。

最初に、まずこれ、こないだ、特別秘書の宮地さんお見えいただいて、この2019年重点施策というところで、このデジタルガバメントの話が出ておりました。私どもにとっても重要な課題ですので、東京都庁の中のみならず、私どもとも、ともに研究をしていただくと。ぜひ、先頭に知事に立っていただきたいなというふうに思います。まずこれが1点目のテーマのお願いです。

それから2点目は、あそこにも出させてもらっているんですが、目黒川も含めた私どもの都市型河川の、まさに今タイムリーのテーマです。水害、それから水質浄化です。今、目黒川も、このぐらいまでいって、もう少しであふれるとこだったんですが、溢水はしませんでした。目黒川のみならず、やはり私ども、例えば呑川ですとか、蛇崩川、みんな地下にも入って暗渠化されています。今75ミリ対応を東京都にさせていただいて、お礼を申し上げたいんですが、こういう状況ですので、目黒区のみならず、この長期的な話になるので、75ミリ対応を積極的に東京都にお願いをしたいということです。

それからもう一つは、今度浄化についてですけれども、目黒川の水質改善は、あそこにもスライドを出させてもらっていますけれども、まず私ども平成30年度に、左下のとこでちょっと小さくて見えないですけども、今私ども、この件については東京都にお礼を申し上げたいのは、ずっとともに検討に加わっていただいて、どうやったら一番きれいになるかということで、評価の検討組織を、確か建設局と、環境局に入らせていただいて、高濃度の酸素が溶けた水を使うのが一番いいんじゃないかという評価になりました。これを受けて、今年の7月に具体化しようというので組織をつくりまして、加えてここに下水道局も入らせていただいて、こういったのも今回初めて、ずっとお願いしてたんですがなかなか実現されないんで、知事になってから初めてしていただいたお礼を申し上げて、いよいよ具体的に今年度中に計画をつくれますので、ぜひまたよろしくお願ひしたいなというふうに思います。これは多分効果があると思います。効果がありますけど、やはり最終的に、今、下水は合流式になっていますので、これなかなか分流式に変えない限りは根本的に難しい話ですので、これこそ長期的に時間かかりますので、是非長期ビジョンの中でこういった問題もしっかり御検討をいただければなというふうに思います。まだお話ししたいことたくさん、とりあえず、5分か何分でやめてくださいと言われてたので、1回目はこのぐらいにして、また後で意見交換でたくさん言いたいことがあるので、よろしくお願ひします。

○知事 ありがとうございます。

先だてのこの台風19号の時は、やはり今地上波等でいろいろと情報発信されて、またメディアも結構、このアプリなども、いろんな災害情報を伝えてきているかと思いますが、

今回は、おっしゃいますように、幾つかの区の方の容量を超えてしまう。パンクですけれども、幾つかテクニカルな課題も多いかと思います。かつ、これから 5G などを含めて、情報通信社会ということは、これは日進月歩の世界で進んで行くことと、それから、それに対してのセキュリティの問題など、それから、区民の皆さん、都民の皆さんが見やすいような広報の仕方になっている。幾つもの課題はあろうかと思っています。やはり、東京都としましても、ソサエティ 5.0、これは国が目指すところでありまして、それを最先端の技術、AI もそうです。それから、RPA、ロボットもそうであります。それを今度 5G に変えることによって、さらに高速の情報処理と、それから通信ができるということで、これらについてはやはり専門家がなかなか、都庁も IT の関係の人材がまだまだ全然足りないというので、今度多くの IT 人材を募集いたしますが、その見極めも必要でありますので、この ICT、IoT、5G と、これらの課題を進めていくにあたって宮坂副知事を任命したところでもあります。区市町村の方々を招いて、自治体における ICT 利活用に関する講演会を、早速開催いたしておりますし、また、折に触れ、様々切り口で、これについてはともに学び合っていかなければならないかと思っています。意見交換、情報共有を行なって、そして、見る方にとっても使いやすい。それを情報システムで構築していかなければならないと思います。と同時に、それは業務の効率化も意味しますので、標準化もそうであります。これから、区役所のより効率的な区民のサービスがよりよくなることと、職員の皆様方の働き方にもかかわってくる課題でございますので、この情報システムなどについてはこれからも勉強会を重ねて、都や区市町村の皆さんが持つノウハウの共有や連携を支援できる取り組みを強化してまいりたいと思います。今回のホームページの件につきましても同様でありまして、区市長さん、皆様方と連携して課題解決にあたっていきたいと思っています。

それから、目黒川の臭気の関係で、おっしゃるような合流式の処理になっているというのは根本でありますけれども、これと、どのような水処理をしていくかは大きな課題だと思っています。治水対策と併せて、良好な河川環境を確保することは重要ですし、桜の名所ですからね。都として清流復活事業など、流水を確保することであるとか、船舶で大規模な浚渫も実施しております。水質浄化のための検討会で、技術的な助言を行っております。それから、区が実施される実験や調査に対しての財政的な措置などを行っているのは御存知のとおりであります。今年度ですけれども、他の河川の先行事例を参考にさせていただいて、高濃度酸素溶解水の導入など具体的な対策を検討していきたいと思っています。このほど、水をどうマネージするかというのは、それは時に臭気の問題であったり、雨水の量の問題であったり、量と質両方かとは思いますが、それから、今回も水害は各地で残念ながら見られたところございまして、調整池の整備という、今回はこれが大変機能しております。ですから、大規模でお金もかかりますけれども、結局起こった後の被害と、起こらないために必要な投資ということを考えれば、それによって命とか財産が奪われることを考えると、必要な投資ではないかとこのように思っておりますので、連携しながら進めていきたいと思っております。

○行政部長 いかがでしょうか。どうぞ。

○目黒区長 まだいいですか。本当ありがとうございました。

もう、デジタル化等については、宮坂学さん、プロ中のプロが副知事に就任されたということですので、どうぞ23区を置いていかないようによろしく願いをしたいなというふうに思います。

それから、目黒川については今お話があったように、私も年間というか、その時期2週間ちょっとぐらい、300万人という、もう多分今日本一じゃないかなと思うので、その頃やはり少し臭いがだんだんだんだん出始めますので、まず短期的には今高濃度酸素溶解水を使った取り組み。やはり長期的には是非あの合流式の改善と、それは今日すぐできることではないので、併せてぜひ知事のリーダーシップをよろしく願いしたいなと思うんです。

それから、もう一つ、今日ちょっとペーパーにおこしてないんですが、直訴して、もう夜寝れないんで今日お話をしたいんですが、都有地の話です。私どもは、まずこれお礼申し上げなきゃいけないのですが、平成28年4月に、柿の木坂の都有地を活用させていただいて、保育園を私ども整備をさせていただいて、本当に待機児の多い区ですので、来年度0を目指して一生懸命やっています。都有地、それで特に、今後私ども特別養護老人ホームですとか、児相の用地なんかも全く私ども今見当がつかないんですね。私ども目黒区は、大体敷地200平米がもう75%占めてますから、大きな敷地が、土地がなかなか出ませんので、都有地について格段の御配慮をいただいて、今いろいろ東京都とキャッチボールをさせていただいてますので、また知事のところにお話が上がるようなことがあれば、英断というか御配慮をよろしく願いしたいなと思いますので、また細かいことは改めてこの場ではなくて具体的にさせていただいてますので、御検討をよろしく願いしたいということなんです。大きく言えば都有地についてまた格段の御配慮をお願いしたいということなんで、これもまた改めてお願いしたいなと思いますので、よろしく願いいたします。これは番外です。

○知事 一方で、その待機児童の件について、こちらの数字では、29年度が617人だったのが、その翌年330人で、平成31年で79人ということで、本当に半減から激減というところで、いろいろと区の方で取り組んでいただき、また、私としても、待機児童対策イコールお母さん方の力が生かせるということだと考えておりますので、今のお話の具体的な件についてはまた別途伺うにいたしましても、待機児童対策については、いろんな仕組みをフルにお使いいただいて、有効に区民の皆様方のニーズに応えていただきたいと思います。

○目黒区長 これも本当にお礼を申し上げなければいけない。都の財政スキームがなければ、とつても私ども、617、330、79人なんて大幅に減らすことはできなかったもので、どっちにしてもこれで終わるわけじゃないので、また今後も一定量私ども整備していきますので、どうぞ山は越えた感じはしますが、また引き続き格段のお力添えをお願いしたいなと思います。番外のお願いになって申し訳ないです。

○知事 ありがとうございます。またこれからも連携の方よろしく願いいたします。

○行政部長 意見交換を終わらせていただきます。ありがとうございました。